

令和元年度 館林市立第四小学校 第2回学校評価一覧表

No.1

2学期末のアンケートでは、たいへんお世話になりました。アンケートの結果は、おむね良い評価をいただいておりますが、目標に達しなかった項目については、全職員で問題を共有し、原因を分析するとともに改善策を立案しました。その他の項目については、現在の取組を継続し、効果を検証します。今後も、さらによい子どもたちを育てるため、職員一同努力していきます。

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっています。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。

羅針盤			学校の取組	評価	達成度	0% 20% 40% 60% 80% 100%	改善策
評価対象	評価項目	具体的数値項目					
I 保護者との連携	1 学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や子どもの成長の様子が分かる」と答えている保護者が90%以上である。	・学校だよりや学年だより、週予定表を定期的に発行して、学校や学級の子どもの様子を保護者や地域へ発信する。 ・連絡帳や電話連絡等により保護者との連絡を密にするとともに、随時個人面談や家庭訪問を実施し、保護者との情報交換に努める。	A	7%	34% 63% 3%	<p>評価対象Iでは、①において目標を達成しましたので、今後も現在の方策を継続して実施します。しかし、②③については、以下の改善策に取り組んでいきます。</p> <p>今回追加した改善策</p> <p>②授業参観の内容を事前にお知らせしたり、親子参加型の授業を積極的に取り入れたいしていきます。</p> <p>③授業参観の「懇談会」や毎月の「学校相談日」では事前アンケートを行い、相談しやすい体制をつくりまします。また、お子さんの様子を学級通信、連絡帳を使って積極的にお伝えしていきます。</p>
	2 学校は、保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②「授業参観や保護者会に参加しやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・親子参加型の授業参観を取り入れ、多くの保護者にとって、関心の高い教科等の授業を行う。 ・子ども全員が発表できる授業展開を設定する。	B	-3%	32% 55% 13%	
	3 学校は、学習や生活、進路などについて保護者の相談に応じていますか。	③「学校は連絡や相談しやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・家庭との連絡を密にし、良好な関係づくりに努める。	C	-11%	22% 57% 21%	
II 確かな学力	4 学校は、「分ける授業」を提供していますか。	④「授業が分かる」と答えている子どもが80%以上である。	・日々教材研究に努め、子どもにとって「分ける授業」を行う。 ・少人数指導やTTによる指導、習熟度別指導など指導形態や指導方法を工夫する。 ・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を充実させる。 ・学力向上コーディネーターを中心に、全国学力学習状況調査などの結果から本校の課題を明らかにし、効果的な指導を行う。	A	12%	61% 31% 6%	<p>評価対象IIでは、④⑤⑦で「A」評価となりましたので、今後も現在の取り組みを継続して行きます。また、⑥では「B」評価となりましたので、以下の方策を実施します。</p> <p>⑥毎日10分間の「ステップアップタイム」、毎週水曜日40分間の「ロングステップアップタイム」を充実させて、お子さんの基礎・基本の定着に取り組まします。</p>
	5 子どもは、基礎・基本が定着していますか。	⑤「教師は授業内容や指導方法を工夫するなど、授業改善に努めている」と答えている保護者が90%以上である。		A	3%	27% 66% 7%	
	6 子どもは、学習したり読書したりする習慣が身に付いていますか。	⑥「子どもに基礎・基本が身につけている」と答えている保護者が90%以上である。	・「ステップアップタイム」において、補充学習や発展学習に取り組ませる。 ・朝行事で「読書」「音読」「作文」を行う。	B	-3%	20% 68% 13%	
	7 子どもは、すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりすることができますか。	⑦ 家庭学習(宿題を含む)や読書を(週平均して)1日あたり学年×10分(1,2年は30分以上)行っている子どもが90%以上である。	・毎日、自力解決できる宿題を出し、家庭学習の習慣を付けさせる。 ・「家庭学習カード」を利用し、計画的に取り組めるようにする。	A	0%	67% 23% 5%	
III 豊かな心	8 子どもは、すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりすることができますか。	⑧ すすんであいさつができる子どもが90%以上である。	・児童会による「全校あいさつ運動」や「あいさつ通り(ハイタッチのあいさつ運動)」を実施する。 ・あいさつの仕方(立ち止まる・帽子を取る・目を見て、元気な声を出しながら一礼をする)を、全学年で指導する。	A	6%	68% 28% 2%	<p>評価対象III「豊かな心」では、⑧⑨⑩で「A」評価となりました。また、⑪⑫⑬で「B」評価となりましたので、以下の方策を実施します。</p> <p>⑩お子さんが意欲的に取り組めるように学習課題を工夫したり、休み時間の過ごし方について話し合ったりして、楽しい学校作りに取り組みまします。</p> <p>⑪お子さん一人一人の様子を把握し、いじめのもととなるトラブルや発見したいいじめは、全職員で対応し、「即日解決」を目指します。</p>
	9 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる子どもが90%以上である。	⑨ 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる子どもが90%以上である。	・学校生活の中で具体的な場面に即して「はい」という返事ができるように繰り返し指導する。 ・「返事の強化週間」を設定する。	A	3%	70% 23% 5%	
	10 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑩「楽しく学校に通っている」と答えている子どもが90%以上である。	・学校生活の中で、一人一人が活躍できる場を意図的につくり、達成感、成就感を味わわせる。 ・道徳、学級活動を充実させ、より好ましい人間関係づくりに努め、あたたかいクラスの雰囲気をつくる。	B	-7%	57% 26% 9%	
	11 「学校はいじめの発生予防に努め、いじめを解消している」と答えている保護者が90%である。	⑪「学校はいじめの発生予防に努め、いじめを解消している」と答えている保護者が90%である。	・日常の観察や「学校生活アンケート」を活用し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・いじめは、校内で情報共有し、組織的・継続的に指導し、100%解消する。 ・児童運営委員会が主体となって「いじめ防止スローガン」をまとめ、いじめ防止活動を行う。	B	-1%	17% 72% 10%	

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっています。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。

羅針盤			学校の取組	評価	達成度	0% 20% 40% 60% 80% 100%					改善策
評価対象	評価項目	具体的数値項目				0%	20%	40%	60%	80%	
III 豊かな心	8 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑫「子どもは相手の立場や気持ちを考えた、親切かな言動がとれる」と答えている保護者が90%以上である。	・道徳や人権学習を中心に、全教育活動を通じて人権意識を高める指導を行う。 ・時と場に応じた正しい言葉づかいができるように指導する。 ・縦割り班活動(清掃班、登校班、給食)を行い、相手を思いやる心や態度を養う。 今年1回目 A 93.9% 今回 ↓ B 85%	B	-5%	28%	57%	15%	0%	⑫されてうれしい言動について指導し、良い言動については、積極的に賞賛します。また、家庭と情報交換を密にし、正しい言動について共通理解の基、指導します。	
	9 学校のきまりや約束を守って生活する生徒が育っていますか。	⑬ 忘れ物をしないように毎日道具をそろえられる子どもが90%以上である。	・使用する学用品の連絡を確実にし、学習道具をそろえるよう指導する。 ・教室のロッカーや机の中などを整理・整頓させる。 今年1回目 B 86.4% 今回 ↑ A 91%	A	1%	54%	37%	7%	2%		
IV 健康・体力	10 子どもたちは、規則正しい生活を送ることができていますか。	⑭「子どもは、十分な睡眠をとっている」と答えている保護者が90%以上である。	・睡眠と体の成長とを関連付けた授業を充実させる。 ・就寝や起床時刻、食事時間について見つめさせ、生活リズムに関する指導を行う。 今年1回目 A 93.9% 今回 ↓ B 88%	B	-2%	53%	35%	12%	0%	評価対象IV「健康・体力」では、⑮⑯で「A」評価となりました。また、⑭で「B」評価となりましたので、以下の方策を実施します。 ⑭メディアコントロールの必要性について学級担任、養護教諭が連携して取り組むとともに、「健康ステップアップ週間」について継続して取り組みます。	
		⑮「子どもは、毎日朝食を食べている」と答えている保護者が90%以上である。	・食事と体の成長を関連付けた授業を充実させる。 ・栄養士による朝食の大切さを扱った栄養指導を実施する。	A	9%	80%	19%	1%	0%		
	11 学校は、日常的に運動に取り組みめるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑯ 体育の授業以外で週3日以上、からだを動かして遊んだり、運動したりしている子どもが80%以上である。	・陸上・持久走・なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に20分休みや始業前に設定する。 ・鉄棒カード、縄跳び等のカードを用意し、自主的に練習ができるようにする。	A	5%	69%	16%	10%	5%		
V 安全確保・施設設備	12 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑰「学校は、教室や校庭など、学校施設は安全に管理されている」と答えている保護者が90%以上である。	・毎月の安全点検を徹底し、不具合を発見した場合は、迅速に修繕する。	A	9%	21%	78%	1%	0%	評価対象Vでは、すべての項目で目標を達成しましたので、今後は現在の取組の充実させていきます。	
	13 学校の安全対策を徹底していますか。	⑱「学校は、地震や火災などの災害や不審者対応などを想定した訓練を実施し、防災・防犯教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署、消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災・地震の避難訓練を充実させる。	A	9%	52%	47%	0%	1%		
		⑲「学校は、交通安全教室を実施したり、安全な登校の仕方について指導し、安全教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。	A	5%	50%	45%	4%	1%		
		⑳「学校は、保護者・地域と連携して通学路の点検やパトロールを行い、通学路の安全確保に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・PTAと連携し、定期的に通学路点検を実施し、登下校時の安全確保に努める。	A	5%	49%	46%	4%	1%		
VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳「子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。」	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	A	3%	43%	40%	13%	4%	評価対象VIは、すべての項目で目標を達成しましたので、今後は現在の取組の充実させていきます。	
VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域の人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティスクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	20%	62%	38%	0%	0%	評価対象VIIでは、すべての項目で目標を達成しましたので、今後は現在の取組の充実させていきます。	

*「自由記述欄」への回答は、「四小だより」に掲載いたします。

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない